

55. 「光石富士郎監督『大阪ハムレット』に関する一考察」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第15輯、武蔵野学院大学、令和4年3月）、13-26頁

「プロローグ」「1 森下裕美『大阪ハムレット』」「2 光石富士郎監督『大阪ハムレット』(2009)」「3 原作からマンガへ、そして映画への変容」「エピローグ」の順で論じた。学術論文として初めて光石富士郎監督『大阪ハムレット』を論じた。シェイクスピアからのマンガ『大阪ハムレット』、そしてさらに二次創作的に映画化されているが、翻案というよりはコンヴェージェンスとして捉えた。特に、マンガから映画への変遷を場面ごとに明確にした。(B5)